

本時のねらい

日本限定のアイスクリームを提案するために、アイスクリームの特徴やおすすめのポイントについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて発表する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・授業支援ソフトの発表ノートを使い、プレゼンテーションをするための資料を撮影し、作成することができる。
- ・英作文をする時にオンライン和英・英和辞典を使い各自で調べることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット端末 ・デジタル教科書（三省堂 NEW CROWN） ・まなびポケット（発表ノート）
- ・インターネットエクスプローラー（検索） ・大型提示装置

本時の展開（全3時間計画：3時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○Describing（毎時間最初に行っている） ・ペアの片方が、相手に見えていない画像について英語で説明する。（30秒間：本時はアイロン・ホタル） ○発表例の動画を視聴 ・視聴後にどんな工夫があるかを考えさせ、2回目の視聴で確認させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明する画像を画面に表示する。 ・デジタル教科書の動画を見せ、目標となる発表のイメージをつかませる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの日本限定アイスクリームを考え、紙に描く ・色もつけて、おすすめポイントなども書く。 ○授業支援ソフトの発表ノートで、自分が考えたアイスクリームのイラストを提出する ○英文作成 ・英文は、下書きをして教員が添削したものを読み原稿として紙で準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本限定」というキーワードをもとに、インターネットで積極的に検索させる。 ・紙に描いたものを撮影させ、関連する画像を貼りたい生徒は自由に貼り付けさせる。 ・わからない単語はオンライン英和和英辞典で調べる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○次時の発表に向けて確認 ・発表の音読や発表の仕方を練習することを示す。 	

1人1台端末を活用した活動の様子

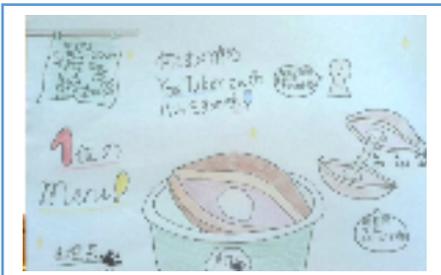


写真1：生徒が描いた日本限定アイスクリーム



写真2：発表のための原稿づくりを行っている場面



写真3：発表場面

児童生徒の反応や姿容

- ・「日本限定アイスクリーム」という創造的なテーマなので、なかなか思いつかない生徒がいることが想定されたが、タブレット端末があることでインターネットを活用し、最初から積極的に取り組む姿が見られた。
- ・タブレット端末の使用が苦手な生徒も、検索のキーワードなどを生徒間で共有する様子が見られた。
- ・自分の意見がより伝わるように、相手にとってわかりやすい単語を選ぶことや、ジェスチャー等を活用するなど工夫が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・他の生徒の作品をタブレット端末で共有することができるので、発表の資料で気付いたことをすぐに追加したり、簡単に提出し直したりすることができる。
- ・生徒の画面を随時更新して確認できるので、適切な声かけができる。